



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 三和コンクリート工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	製造過程において発生する産業廃棄物の処理に関しては、適切な管理、処理に取り組んでいる。		3.9		6.3			11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を把握し、照明はLED、社用車は軽自動車、EV車に随時切替える等、使用量削減に取り組んでいる。				7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	環境省の「簡易計算シート」により、自社のCO2排出量を把握している。照明のLED化、社用車のEV車導入、自社製品の原材料配合に火力発電で排出される副産物を活用する等、CO2排出量の削減に取り組んでいる。		2.4			7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	当社製品の擁壁では、植物や生物の生態系保護に配慮した環境保全型ブロックを製造販売しており、環境の保全に取り組んでいる。					6.6						14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●	製品製造において製品ごとの適正在庫を把握し、計画的に製品製造を行うことで無駄を無くすよう取り組んでいる。出荷後に工場に戻った生コンを利用した製品を製造販売している。社内ではペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15	
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	各工場から排出される洗水は、排水処理リサイクルシステムを導入し、再利用を行っている。従業員には「節水」を励行するよう伝え、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15	17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●	環境保全型ブロックの製造を行っている。火力発電所において、発電時に排出される副産物を配合したコンクリートを使用し、製品の開発・製造に取り組んでいる。							9.4			12.4 12.5	13	14	15	
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2		6.4					12.3		14	15	17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	法面補強工事を行う際、壁面緑化が可能となる商品の提供を行い緑の創出と保全に取り組んでいる。									11.6 11.7		13.1 13.3		15	17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	太陽光発電事業にも取り組んでおり、年間100万kwhの再生可能エネルギーの供給を行っている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●											12.2 12.5		14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	営業車にはハイブリット車、軽自動車を導入し環境にやさしい自動車の使用を促進している。							9.4		11.2			13.1 13.3		
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.17

